



特集 森林

適正に間伐されたスギ林



帆引き船が浮かぶ霞ヶ浦

湖沼環境税

～ いばらきの美しい水と緑を未来へ～

森林湖沼環境税の仕組み

納める人

県内に住所や事業所などがある個人、法人(※)
※住民税(県民税均等割)を納める人と同じです

納める額

[個人] 1,000円/年
 [法人] 県民税均等割額の10%/年

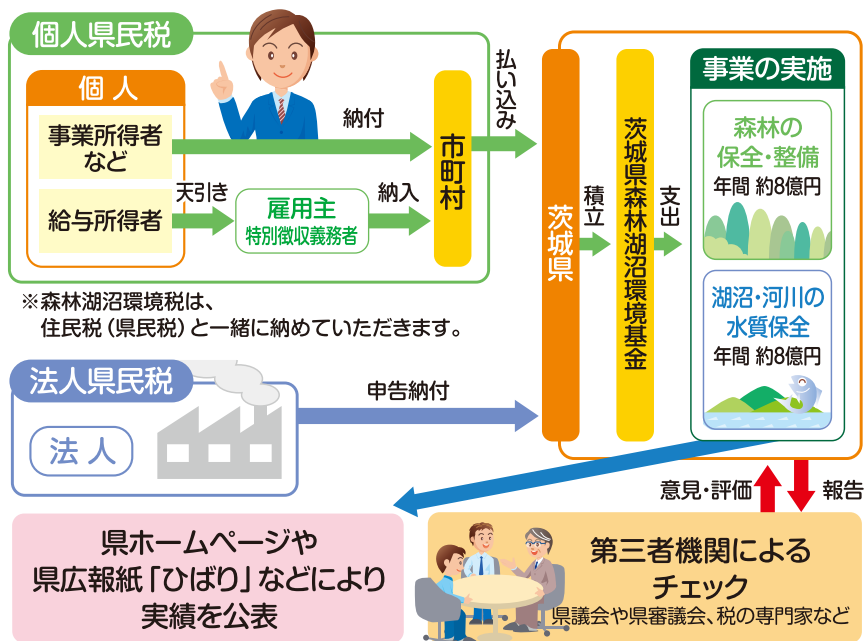
納める期間

平成20年度から平成29年度まで

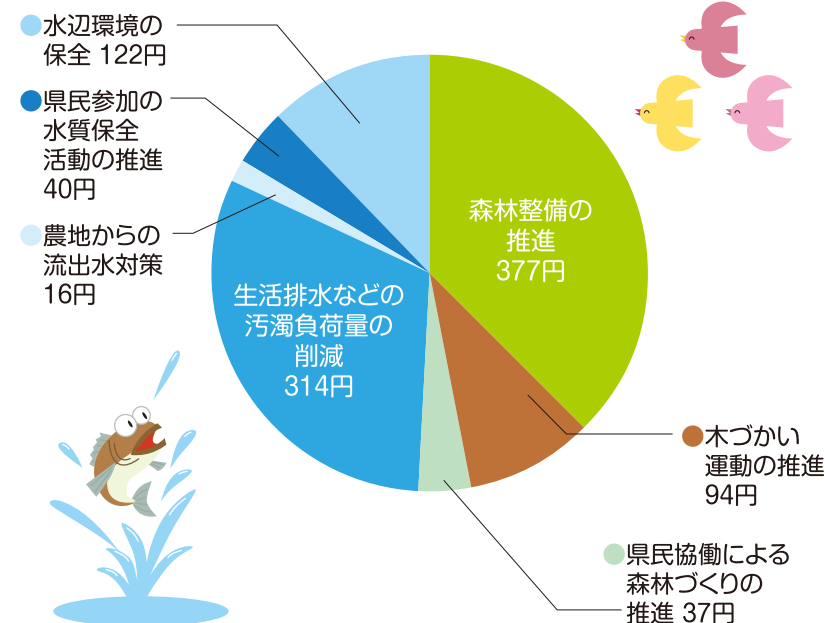
お問い合わせ先

- 税の仕組みに関すること
 ☎ 県税務課 ☎029(301)2418
 - 税の使いみちに関すること(森林)
 ☎ 県林政課 ☎029(301)4021
 - 税の使いみちに関すること(湖沼・河川)
 ☎ 県環境対策課 ☎029(301)2968
- 🔍 「茨城県 森林湖沼環境税」で検索

納税から事業実施までの流れ



平成27年度の森林湖沼環境税の 使いみち 一人あたりの年額1,000円の使いみち



森林湖沼環境税とは?
 県民共有の財産である森林や湖沼・河川を良好な状態で次世代に引き継ぐため、平成20年度から導入している県民税です。
 皆さまに納めていただいた森林湖沼環境税を活用して、荒廃した森林の間伐や高度処理型浄化槽の設置促進など、自然環境の保全に取り組んでいます。



守り
育てる

森林環境保全のための適正な森林整備の推進

- 荒廃した森林の間伐 (1,079ヘクタール)
- 間伐作業道の開設 (76,299メートル)
- 身近な平地林や里山林の整備 (143ヘクタール)
- 海岸防災林の機能強化 (広葉樹などの植栽12ヘクタール、松くい虫被害木伐採1,502立方メートル)



間伐した森林



見通しのよくなった通学路

つかう

いばらき木づかい運動の推進

- 県産材を使用した木造住宅建築への補助 (300戸)
- 公共施設の木造化・木質化 (2施設)
- 学校などへの木製品 (椅子や机など) の導入 (35施設)



県産材を使った住宅の建築



県産材を内装に使用した保健センター

学び
つなぐ

県民協働による森林づくりの推進

- 地域の森づくり活動などへの支援 (20団体)
- 小・中学生などを対象とした森林・林業体験学習を実施 (参加人数 8,327人)
- 筑波山のブナ林保護活動 (林床ササ刈り560平方メートル)



森林・林業体験学習

防ぐ

生活排水などの汚濁負荷量の削減

- 高度処理型浄化槽の設置などへの補助 (1,210基)
- 下水道や農業集落排水施設への接続支援 (下水道:375件、農業集落排水:230件)
- 工場・事業場の立入検査 (612事業所)
- 家畜排せつ物を燃料として利活用 (2施設)
- 堆肥の流通促進を支援 (1集団)



高度処理型浄化槽の設置



工場・事業場の立入検査

学び
つなぐ

農地からの流出水対策

- 農業排水を農業用水として再利用する循環かんがい施設の整備・管理 (12カ所)



霞ヶ浦湖上体験スクール

守る

水辺環境の保全

- 湖水や河川などを直接浄化する実証試験の実施
- アオコ抑制装置を設置し悪臭被害などを防止
- 未利用魚の回収 (257.6トン)
- 霞ヶ浦の水質改善に向けた試験研究



アオコ抑制装置の設置



未利用魚の回収

平成26年度事業による年間炭素吸収量

約**2,042**炭素トン (間伐:1,942炭素トン 平地林:100炭素トン)

平均的な家庭約1,422世帯が1年間に排出する炭素量に相当

森林湖沼環境税PR キャラバン (県内5カ所)

平成26年度事業による年間負荷削減量

COD*	全窒素	全りん
約 47 トン	約 34 トン	約 3.7 トン

平均的な家庭約6,600世帯の年間排出負荷量 (COD) に相当

*COD・・・化学的酸素要求量のこと。水質汚濁の原因となる水中の有機物に関する指標の一つです。

Q 間伐はどうして必要なの?

A.人が苗木を植えて育てた森林を「人工林」といいます。「人工林」は、木の成長に応じて間伐を行わないと、枝や葉が重なり合って太陽の光が入らない暗い森林になり、木の成長が悪くなるばかりでなく、下草が生えないため雨が降ると土砂が流れやすくなり、森林の土が水を蓄えるという機能が失われてしまいます。間伐は、健全な森林をつくるために欠かせない作業です。

私たちにできることを一緒に考えてみよう

いばらきの森や水について調べてみよう

ボランティアに参加してみようかな

環境体験学習に行くんだ

Q 「窒素やりん」は、どうして削減しないといけないの?

A.窒素やりんなどの栄養塩類は、植物が育つために必要な物質です。しかし、水中の窒素やりんが多くなりすぎて富栄養化が進むと植物プランクトンが増加し、アオコが発生してしまいます。また、植物プランクトンの増加に伴って、湖内の有機物も増え、湖が汚れてしまうことにつながるのです。